

第5次荒尾市総合計画  
前期基本計画に関する提言書

平成23年10月7日

荒尾市まちづくり  
ワーキンググループ

# 目 次

<b>I はじめに</b> .....	1
<b>II まちづくりに関する提言</b> .....	2
1 産業・雇用創出グループ .....	2
2 保健・福祉・医療グループ .....	5
3 子育て・教育・文化・スポーツグループ .....	11
4 コミュニティ・防災・環境・都市基盤グループ .....	15
<b>III 参考資料</b> .....	21
1 各回の検討内容と進め方 .....	21
2 荒尾市まちづくりワーキンググループメンバー一覧 .....	23

# 1 はじめに

この提言書は、荒尾市まちづくりワーキンググループにおいて、4つのグループで議論した結果をまとめたものです。

メンバーがそれぞれの立場から自由に意見を出したために、実現が難しい内容の提言もあるかもしれません。

しかし、これらの意見のすべては、少しでも荒尾市が良くなってほしいという思いから出た意見です。

これらの提言が荒尾市総合計画、ひいては、これからのまちづくりの参考になれば幸いです。

平成 23 年 10 月

荒尾市まちづくりワーキンググループメンバー 一同



## II まちづくりに関する提言

提言書の作成にあたっては、「産業・雇用創出グループ」「福祉・保健・医療グループ」「子育て・教育・文化・スポーツグループ」「コミュニティ・防災・環境・都市基盤グループ」の4つのグループごとに挙げられた様々な意見のほかに、他グループからの意見や、複数の参加者から賛同を得た「やるべきこと(施策提案)」についても一緒に整理を行なった。

- ※1. 具体的な提案の( )内は他グループから賛同を受けた数。  
2. 下線は他グループからの提案 以下すべて同様

# 1 産業・雇用創出グループ

## (1) 企業誘致・雇用

### 「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題

若者の流出を防ぐためにも、働く場の創出が必要であり、企業誘致の促進とともに、地元製造業の情報を積極的に地元を提供できるような取組が必要です。



具体的な提案(やるべきこと)		
地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
・ 住民への荒尾市のPR	・ 地元企業のPR(1) ・ 市外者目線での価値観の向上(1)	

## (2) 観光

### 「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題

観光振興を図る上では、レジャー、イベント、自然を中心とした観光客流入への取組、市内出身の著名人や歴史遺産を活用した取組などが必要です。

前者については、ウルトラマンランド、荒炎祭、有明海を活かした取組が考えられます。ウルトラマンランドについてはキャラクターの活用やグリーンランドでの地元物産コーナーを図るとともに、荒炎祭については踊りに参加する雰囲気がないことから、市民のまつりとして内容を深めることが必要です。

観光資源の演出等による集客力の強化を図る必要があります。また、小代焼の歴史、文化をもっと取り上げるとともにJRとのコラボによる花に囲まれたウォーキングコースづくりなどが必要です。そのためには、駅周辺の美化、緑化等が必要です。

後者の市内出身の著名人や歴史遺産を活用した取組では、宮崎兄弟のメジャー化や坂村真民、海達公子の詩碑の地元へのアピール、俊苜(しゅんじょう)と正法寺の評価等が必要です。

万田坑については観光客アップのため、観光案内所や案内板の設置等のほか、観光客をお出迎えし、案内するシステムづくりなどソフト面での対策も必要です。

その他、古民家の整備によるお泊り体験等への取組の検討が必要です。



具体的な提案(やるべきこと)		
地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荒炎祭の内容の見直しと、開催場所の固定化、市内企業の総踊りの参加を積極的に進める。(8)</li> <li>・ 子どもたちが文化について、伝統行事など楽しく参加できる環境をつくる。(2)</li> <li>・ 荒炎祭の前夜祭を文化センターを一日使って、習い事の発表場にする。</li> <li>・ 梨の花、小岱松、マジックの模様の小物を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水質改善による遊びや観光の振興 (6)</li> <li>・ 荒尾のカラーを作る。(2)</li> <li>・ 荒尾遺産再発掘(1)</li> <li>・ <u>海水浴場の再開</u></li> <li>・ 対外的魅力向上のための万田坑デジタル掛け軸の検討</li> <li>・ 「〇〇の駅」を作る。(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西鉄バス（高速）にデコレーションする。(1)</li> </ul>

### (3) 農林漁業

「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題
<p>山と海のある街(山の幸、海の幸)として、食の安全性をPRするとともに、農産物の高品質化とブランド化を進める必要があります。</p> <p>併せて、農産物、海産物の地産地消のために、梨だけに限らず市場への認知度を高める必要があります。</p> <p>また、農業振興のためには、農業従事者の世代間交流が少ない、ひいては技術の伝承がないなどの問題を抱えているほか、農家の女性の社会参加をもっと伸ばす必要があります。</p> <p>また、住民も一体となってオリーブを植えるなど市全体がオリーブの街としてのイメージアップを図るなど新しい取組を進める必要があります。</p>



具体的な提案(やるべきこと)		
地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農産物の地元飲食店での利用 (6)</li> <li>・ マジックの料理法開発 (ペースト状にし、フランス料理風、イタリア料理風、メキシコ料理風等に利用する。)</li> </ul> (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農産物ブランド化のためのレベルアップ(9)</li> <li>・ 農産物のブランド化(1)</li> <li>・ <u>だご汁の開発</u></li> </ul>	

#### (4) 商業・サービス業

##### 「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題

商業については、他地域に販売できる商品の開発などを進める必要があります。  
 また、事業の失敗から立ち直り易い環境づくりや資源の集中を図るため開業がしやすい環境づくりが必要です。  
 併せて、商店街が分散するなどメインストリートがない状況であり、空き店舗対策などを通して賑わいのある商業集積づくりに向けた取組とともに、街路灯を増やすなど商店街をもっと明るくする必要があります。  
 さらには、市街地から離れた地域の観光商業の取組を検討する必要があります。



##### 具体的な提案(やるべきこと)

地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
・荒炎祭と一緒にを行うなど S U I 祭りの拡大（名称変えてもよい）(2)		



## 2 保健・福祉・医療グループ

### (1) 福祉

#### ①地域福祉

##### 【ボランティアグループの活性化】

###### 「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題

ボランティアグループの育成、活性化のためには、市の行事に参加しアピールすることによって、一般市民への周知を図り、会員を増加や若返りを図る必要があります。

また、ボランティアグループの横の連絡を密にすることによって、連携強化を図るなどの取組が必要です。

さらには、高齢者福祉団体の連携を図り、高齢者のもっと住みよい町づくりを進めることを含め、各種福祉団体のネットワーク化を推進する必要があります。

具体的には、社会福祉協議会、民生委員、老人クラブ、シルバー人材センター等お互いの連携を強化することが必要です。



###### 具体的な提案(やるべきこと)

地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
<p>・ボランティアグループ会員を増やすため、各グループへの体験入会をする。</p>	<p>・ボランティアグループの紹介として、年に2回程の広報誌を出しているが、もっと配布回数を増やし、回覧板方式なので所帯に一部ずつ届ける。(2)</p> <p>・荒玉関係でボランティアのホームページもあるが、ボランティアをする人は高齢者が多いと思われるので、簡単に知る事が出来る方法、ポスター等を作る。</p> <p>・ボランティアの育成・研修を住民と協働で行なう。</p>	<p>・市が中心となり、社協や老連、その他の福祉団体とのネットワークを図る。</p>

##### 【地域活動への助成】

###### 「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題

住民にもっとも身近な自治会、町内会、区会の活動を地域福祉にまで高めていくとともに、いきいきサロンの普及など高齢者の集う場所づくりを進めることによって、治療より予防に力を入れる取組が必要です。

併せて、地域のリーダーを育てる環境づくりや、コミュニティの基本となる区会への加入率の維持、向上に努める必要があります。

さらには、各校区の元気づくりの活躍を継続させるための市からの助成金の維持、継

続を図る必要があります。

また、地域に暮らす一人一人が、もっと見守りの意識をもつとともに、高齢者と子どもふれあい場を多くする必要があります。



具体的な提案(やるべきこと)		
地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民同士が仲良くなる、顔なじみの関係を作る運動を進める。(7)</li> <li>・地域で見守り役を決め、一人暮らしの家へ定期的に訪問する。(5)</li> <li>・地区の主催のスポーツレクレーションに、他の地区の人達の参加も出来る様にする。(2)</li> <li>・子どもが老人施設等への訪問をし、高齢者と交流をする。(2)</li> <li>・区に加入した人にボーナスを出す。</li> <li>・区でボランティアをした人にポイントを付けて表彰する。(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者と子どもの交流サロンを作る。(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区のリーダー研修を企画する。(8)</li> <li>・地域で交流できるスペースをたくさん作る。(1)</li> <li>・広報を配布する区に対し、補助金を出す。</li> </ul>

### 【バス・交通手段】

#### 「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題

荒尾市はバスの便利がとても悪く、高齢者への配慮が必要であり、買い物難民に対する支援や身体障がい者への気遣いを含め、路線バスの便数増や市民病院のバス乗入れなどの検討を進める必要があります。

また、雨の日での学生・生徒の通学利用の可能性についても検討する必要があります。



具体的な提案(やるべきこと)		
地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>・区で乗り合いのしくみを作る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗り合いバス、タクシーの運行(3)</li> </ul>



## ②高齢者福祉

### 【老人クラブの育成】

#### 「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題

老人クラブは、高齢者の福祉、生きがい、健康の増進を図るために重要な役割を担っており、また、市の最大団体であることから、老人クラブをもっと活用する必要があります。

そのためには、高齢者の社会貢献の場である老人クラブを各地域に設立することも必要ですが、設立のための条件整備を含め住民だけで創設するには限度があり、行政による支援が必要です。

また、老人クラブにおいては、“自宅介護”の助成活動組織、いわゆるボランティア活動組織としての位置づけもっており、そのための育成も必要です。



具体的な提案(やるべきこと)		
地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政と定期的に話し合う場を設けて協働を図る。(2)</li> <li>・老人クラブが無いところへクラブを創立する。(元気づくり会と同じように行政がきっかけ作りをする)(1)</li> </ul>	

### 【高齢者の生きがいづくり】

#### 「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題

団塊の世代が高齢者の中核を占める今日にあっては、各地域公民館での高齢者健康体操教室を多く開催するなど、高齢者の社会参加の場を作るとともに、元気な高齢者が介護の担い手になれるような環境づくりも必要です。

また、高齢者の生きがいと健康づくりの一番良い方策としては、高齢者の仕事を作り出すことが必要であり、シルバー人材センターの機能の強化を図る必要があります。



具体的な提案(やるべきこと)		
地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が先生になって、各種教室を開催する。(5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の仕事を創出する。地区協議会、その他の団体などを主体として協働でコミュニティビジネスの立ち上げ(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバー人材センターの補助金拡充</li> </ul>

### ③障害者福祉

#### 「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題

ノーマライゼーションの観点から、まず、障がい者に対する偏見等をなくし、障がい者に対する理解とともに、障がい者も健常者も共に暮らし易いまちづくりが必要です。

その上で、聴覚障がい者を含む身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者の家族の方（達）に災害の時情報が早くわかるように、近隣の方達の支援も含め重度、軽中度に関係なく家庭（家族）に対する防災方法や災害が起きた時の救済方法の当事者への周知等を徹底する必要があります。

また、聴覚障がい者のための公共施設での手話通訳の増員などコミュニケーションの保障を図る必要があります。

さらには、障がい者の交流拠点の増加や身障連会員の増加、障がいを持った若い世代向けのショートステイの創設など障がい者同士の交流等の場の確保が必要です。

また、安心して生活できる賃金が貰える所で働けるなど身体障がい者の雇用問題への取組をはじめ、障がい者が社会貢献できる場所や障がい者と健常者とのスポーツ交流などを図る必要があります。

支援する側としては、技術を必要とするボランティアグループに対しての指導や養成が必要です。



#### 具体的な提案(やるべきこと)

地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>・区の見守り体制を整える。</li> <li>・体育指導委員にお願いして、ニュースポーツなど指導。障がい者に喜ばれる遊びを導入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時要支援者への地域の方達への周知と訓練等を実施する。</li> <li>・緊急時の支援を兼ね、区ぐるみでの見守り活動に取り組む。</li> <li>・スポーツ交流の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の資金援助(1)</li> <li>・身障者福祉サービスを充実させる。</li> <li>・聴覚障がい者のコミュニケーション方法として、市役所・市民病院などで手話通訳者の設置を週に1回から増加させる。</li> </ul>



## (2) 保健・医療

### ①健康づくり

#### 「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題

食生活は健康づくりと密接な関係があります。「いきいきサロン」では、成人病予防に力を入れて減塩を取り入れた料理を提供するなど、食生活改善推進員の役割が大きく、地域高齢者の元気の輪を広げるためにも、「いきいきサロン」の拡大が必要です。そのほか、出産前の親の学習機会づくり等も必要になっています。

また、スポーツ・運動による健康づくりについては、ビートコアウォーキングの普及や夜間照明によって夜間でも安全にウォーキング出来る場所づくりなど多様な取組を進めるとともに、指導する側として、健康推進指導員の充実が必要です。



#### 具体的な提案(やるべきこと)

地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域にウォーキングコースを作って、いつでも参加出来る場所をつくる。</li> <li>・地域の散歩コースを作る。</li> <li>・荒尾市より各地区協議会に指導出来る人を出向させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサロンなどの地域福祉の活動に補助金の増加をする。</li> </ul>

### ②医療

#### 「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題

医療施設の核となっている市民病院については、医療科やスタッフの増加、特別診療の育成、夜間外来の充実など多様な医療ニーズへの対応が必要となっています。

また、健診を受けたくても交通が不便、市民病院の玄関口の見通しを良くし車いすがスムーズに通れる位のスロープがほしいなど施設・設備面での改善要求への対応も必要です。そのほか、市民病院と民間医療機関との役割分担の明確化も必要です。

高騰する医療費の抑制については、各種健診への受診呼びかけの一層の徹底や成人病予防のための食生活を取り上げた講演等の各地域での開催などが必要です。

そのほか、乳幼児医療費助成の拡充や高齢者医療費と介護費の低減をひとつの市民運動として展開するなどの取組も必要です。



#### 具体的な提案(やるべきこと)

地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政区毎、隣組で助け合っ て自家用車での送迎や送迎手 当てを要請する。(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高医療費、介護費の低減を 市民運動として実施する。行 政主導で市民を巻き込む。(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民病院は医師会の運営と し、市は一定の額を助成する など市民病院と民間医療院と</li> </ul>

		<p>の役割分担を図る。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 病院内の駐車場をフラット状態にする。</li><li>・ 高額な医療費軽減対策として空き家を利用して交流や親睦、体操、趣味などの活動を実施する。</li></ul>
--	--	--



### 3 子育て・教育・文化・スポーツグループ

#### (1) 子育て

##### 「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題

多様な保育サービスが求められる中、夜預かってもらう(夜間保育)、病気の子どもを預かってもらう(病児保育)等出産後の育児サポートの充実とともに、保育料については、実情調査のうえ、検討する必要があります。

また、子育て支援センターでの0歳児の取組も必要となっています。

保育園保護者会連合会や県私立幼稚園 PTA 連合会における活動の充実や産前を含めた親の学習する機会の創出などとともに、家庭における「食育」への取組が必要です。

学童保育については、各小学校に設置できるような取組が必要です。

そのほか、荒尾市広報の中に幼稚園のことも掲載する、幼稚園・保育園に常時警備をつけるなど子どもが育っていく過程での保育、教育の助成の充実など多方面にわたる取組が必要です。



##### 具体的な提案(やるべきこと)

地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料理教室等の講座の実施(1)</li> <li>・保育、教育の支援の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童保育施設の増加(5)</li> <li>・病児保育施設の増加(4)</li> <li>・乳幼児医療費の拡充(1)</li> <li>・医療助成を充実させる</li> <li>・医療費請求手続の緩和(乳幼児)</li> <li>・<u>個人が医療費を負担しなくて良い様に、医療機関と行政間で支払をする。</u></li> </ul>



## (2) 教育(学校)

「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題
<p>基礎・基本の学力と「生きる力」が今求められる中、ボランティアの方々の協力も含め荒尾の歴史や歩み、文化を子どもたちにしっかり教える時間等の確保が必要です。</p> <p>そのほか、三味線教育の時間などユニークな取組も必要となっています。</p> <p>また、国際化等に対応した外国人指導助手(ALT)の活用や特別支援学級の充実なども必要です。</p> <p>学校規模適正化については、通学方法など様々な課題に配慮した慎重な取組が必要です。</p> <p>学校施設については、空き教室、閉校舎の運動場等の有効活用の検討も必要です。</p>



具体的な提案(やるべきこと)		
地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人材発掘（郷土史、文化等）(5)</li> <li>・閉校舎の有効活用（地域コミュニティなど）(3)</li> <li>・郷土学習の充実（スポーツ、文学、絵画、文化財）(2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある学校教育の充実(5)</li> <li>・様々な課題に配慮した学校規模適正化の推進(1)</li> <li>・各校に給食室（食堂）の設置</li> </ul>

## (3) 生涯学習

「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題
<p>生涯学習については、講座開催地の増加のほか、ゆったり絵本を読んだり、勉強したりするスペースがある子どもコーナーの充実した明るく広い図書館の整備など具体的な活動の場の充実が必要です。</p> <p>また、子ども会の充実と地域との交流を深め連携をしていくまちづくりを進めるとともに、市民レベルでの荒尾在住外国人の方への日本語指導の充実など多様な学習機会の創出が必要です。</p>



具体的な提案(やるべきこと)		
地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人材の出番づくり(1)</li> <li>・講座情報の積極的な発信</li> <li>・魅力ある講座の創設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館、中央公民館、施設の新設（更新）(1)</li> <li>・利用者ニーズに対応した施設の活用</li> <li>・地域コミュニティの再生</li> </ul>

#### (4) スポーツ

##### 「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題

総合型地域スポーツクラブについては、関係団体や行政との連携を強化する必要があります。

それに関連して、幼児から成人まで一日参加できるスポーツの行事等を検討する必要があります。

体育施設については、人と人の交流拠点づくりの視点から活用しやすい体育施設（休憩室、更衣室完備）の充実を図るとともに、体育館やプールの改修等が必要です。

そのほか、公園については、老朽化した遊具の整備やトイレ設備の充実などを図る必要があります。



##### 具体的な提案(やるべきこと)

地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツイベントの拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動公園施設の充実・補修(4)</li> <li>・公園の充実(2)</li> <li>・<u>運動公園にはクラブハウスが必要(更衣、シャワー、休憩、コミュニケーション)</u>(1)</li> </ul>



## (5) 文化

### 「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題

荒尾市では、数多くの文化人を輩出しており、これら文化人を含め荒尾市民が他県に誇れるものを出して、全市民あげてPRできるものを末長く続けていく必要があります。具体的には、海達公子まつり（3月20日～3月26日開催）を荒尾市の一大行事に育てる、坂村真民、海達公子の作品、詩碑めぐりを学校の教材にする、月田蒙斎等の文学者を教育の現場で取り上げる、屋外の文化・美術作品等の保全と美的プレゼンスの保持、市民文化祭の充実、市民音楽祭の創設などの取組を検討する必要があります。

また、万田坑を中心に世界を目指す荒尾にするため、全国炭坑節大会の開催などたくさんの方々を呼び込むPRを市民の立場から取り上げる必要があります。

さらに、日本古来の伝統の継承や旧町名地図の掘起しなどを通し、文化・歴史に対する若い人や多くの方への認知と啓発を図る必要があります。



### 具体的な提案(やるべきこと)

地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海達公子生誕 100 年祭 (2016 年) の金子みすゞとの合同企画で開催する。(4)</li> <li><u>(単独でやってほしい)</u></li> <li>・伝統芸能の保存・継承(2)</li> <li>・地域の特色を出した文化振興の推進(2)</li> <li>・文化財の保存整備(1)</li> <li>・万田坑の世界遺産登録推進(1)</li> <li>・郷土の偉人の顕彰</li> <li>・郷土学習の充実</li> <li>・<u>過去(歴史的)の文化財だけでなく、現在のもの(美術・文化)の保全(行政は保全のマニュアルを作る)</u></li> </ul>	



## 4 コミュニティ・防災・環境 ・都市基盤グループ

### (1) コミュニティ

#### 【各種交流やコミュニティの形成】

##### 「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題

荒尾市の活性化のためには、他地域等との交流を通じたまちづくりの推進は欠かせません。そのため、各種団体の交流のほか、地域交流のためのイベント拡大、医療、教育、給食、環境対策、文化交流事業、行政活動などでの隣町との活動連携など交流機会の増大を図る必要があります。

また、荒尾市での地域福祉、地域の安全・安心等を進めていく上で、協働のまちづくりや人の絆 ゆずり合いの視点をもった地域でのコミュニティの形成が必要です。

そのため、元気づくり事業(元気会)の継続した取組を進めるとともに、行政協力会での依頼事項の伝達ミス回避のための行政区単位の会議の開催、さらには地区協議会の定期的な会議の開催等を積極的に進める必要があります。



具体的な提案(やるべきこと)		
地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の意識改革</li> <li>・声かけの強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町づくり協議会（共通した活動指針作りと定例会開催）</li> <li>・地区協議会の組織作り、規約等を早急に進める。</li> <li>・協働のまちづくり条例の制定（助成金の継続裏付け）</li> <li>・他町（隣接）との各分野の協議会の設立、</li> <li>・活動組織化（活動組織育成）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気づくり事業の補助金の継続予算化(5)</li> <li>・地区協議会ができるので、そこに依頼事項を取上げる部署を設ける。</li> </ul>

#### 【行政運営】

##### 「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題

行政運営からは、もっと市民の声をきく、希望に副う建設・工事などの施工をするなど行政にたずさわる市職員の姿勢・態度の改革が必要です

また、荒尾市広報については、健康福祉まつりなど大きな行事の記事は大きく掲載するなど記載内容の見直し等を検討する必要があります。

さらに、子育て申請書のダウンロード、メディア交流館やみどり蒼生館の予約をしやすくするなど市のホームページの充実を図る必要があります。



具体的な提案(やるべきこと)		
地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報記事の規制を緩める。(市民の活用ページの設置)</li> <li>・ 市民の諸団体の活動のホームページと市HPとのリンクを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土建工事を市が実施する場合、計画を公示して市民の意見を反映させる。(1)</li> <li>・ 行政の改善</li> <li>・ 市の直轄工事や事業についてのヒアリングの実施。(対象者との協議)</li> <li>・ 市職員の賃金を上げ、質の向上を図る。</li> <li>・ 広報紙についてはメリハリをつけたり、紙面をふやす。</li> <li>・ 地元重視のボランティア活動有専化</li> <li>・ 指定管理者にまかす。(市の規定緩和)</li> </ul>

## (2) 防災・環境

### 【防災・防犯・交通安全】

「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題
<p>東日本大震災以降、防災に対する関心は高まっており、荒尾市においても、防災対策の見直しが必要となっています。</p> <p>具体的には、住民の防災への理解のもと、防災訓練の充実や避難所の検討、住宅の耐震化が当面必要となっています。</p> <p>消防については、市役所と荒尾消防署とのスムーズな連携や住宅用警報機の取付けの促進が必要です。</p> <p>また、防犯については、防犯灯の拡張が必要となっています。</p> <p>さらに交通安全対策では、信号機設置の見直しや交通ルールの遵守化等が必要です。</p>



具体的な提案(やるべきこと)		
地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主防災組織の設置(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市、住民による防災・環境問題の再検討(1)</li> <li>・ 機能する地域自主防災組織の設置を進める。</li> <li>・ 住宅の耐震調査と対応</li> <li>・ 青色パトロールカーの巡回</li> <li>・ ブロック塀から生垣へ変更</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災のための地域放送の拡充、見直しをする。(放送が聞こえない、充分でない所も多い現状)(3)</li> <li>・ バザードマップの見直し</li> <li>・ 公共の建物から耐震化を行う。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・信号機設置についての警察協議の推進</li> <li>・大人の交通ルール教室を運転免許更新時に行う。</li> <li>・学生の交通ルール教育、免許更新時の指導の強化</li> </ul>
--	--	--

## 【環境保全】

「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題
<p>有明海沿岸は優れた生態系を有しており、ラムサール条約への登録を進めることによって、種の保全（生態系の保全）、外来種の根絶等を積極的に進めるとともに、鳥のエサとなる甲殻類、底生生物（ベントス）が著しく減少（絶滅に近い）している有明海生物の多様性を守る漁業のあり方、カエルもいない田んぼ 魚、水生昆虫もいない現状での自然の生態系を考える農業のあり方等を検討する必要があります。</p> <p>また、市民の環境意識を高めるための環境学習センターの設置や海浜公園としての整備も検討する必要があります。</p>



具体的な提案(やるべきこと)		
地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来種（動植物）をもちこまない、もちださない、とりのぞく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ、節電等への意識を高める市民活動の展開を企画し、省エネを推進する。(2)</li> <li>・竹対策と利用拡大の推進(2)</li> <li>・海での農薬規制</li> <li>・漁業（のり栽培）に於ける農薬の規制・条例制定</li> <li>・ラムサール登録推進と併せ、底生生物の回復を図る。</li> <li>・有明海の再生</li> <li>・耕作放棄地、犬のフン、野焼き対策の推進</li> <li>・有害獣対策の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有明海特別措置法に基づく対策推進(1)</li> <li>・里山の保全（水田や溜池の整備、環境保全型農業の推進)(1)</li> <li>・除草剤を使わない稲作、合鴨農法、菜種の植栽、すき込みで減農薬の奨励(1)</li> <li>・河川公園（親水）を造成する。生命（生物）とのふれあいから保然の心を育てる。</li> <li>・「市の木」のPRをもっと、保存、普及</li> <li>・市の鳥の制定</li> </ul>

## 【ゴミ処理】

「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題
荒尾市では、依然として不法投棄がまだ多く、普通ゴミを含めゴミの処理に対する市民の啓発を図る必要があります。 そのほか、道路の美化の観点からも道路沿駐車場のゴミの撤去や収集等取組など検討する必要があります。



具体的な提案(やるべきこと)		
地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
・市内ゴミ取り日(市民活動)の設置		・草刈り条例の設置

## (3) 都市基盤

### 【住宅】

「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題
荒尾市の市営住宅の整備にあたっては、建物の近代化を進めるとともに、市街地を除く地域の公営住宅の造成を進める必要があります。 併せて、空家や休業店舗等を活用するなど、外見からみても住宅、企業等が集積し活気があるまちづくりを進める必要があります。



具体的な提案(やるべきこと)		
地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
	・空家を活用するため、地区協議会で取組む(2) ・競馬場再開発検討会の設置と事業化	・市民から町づくりの提案募集 ・ベッドタウンの推進 ・公営住宅の拡充

### 【公園等】

「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題
荒尾市には公園が少ないため、自然を生かした(とり込んだ)公園や設備の整備や老人、子どもも遊べる場所としての整備が必要です。 また、河川沿いの整備や岩本橋周辺の環境整備のための公園化なども併せて検討する必要があります。



具体的な提案(やるべきこと)		
地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
		・多目的な公園の新設(6)

## 【駅周辺等都市開発】

「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題
<p>荒尾駅については、国道 208 号からのアクセスなど駅と居住地の交通アクセス強化や通勤通学の交通アクセス強化を通して、駅の利便性の向上を図る必要があります。</p> <p>併せて、荒尾駅周囲に店舗がないことから、駅前開発の可能性について検討する必要があります。</p> <p>また、駅のエレベーターの設置など設備面での向上を要請する必要があります。</p> <p>そのほか、将来の開発による活気あるまちづくりのため、西鉄電車の荒尾市の中心街を経てグリーンランドまでの乗り入れ可能性の検討が必要です。</p> <p>また、開発許可基準見直し（1,000 m<sup>2</sup>→3,000 m<sup>2</sup>）等の検討も必要となっています。</p>



具体的な提案(やるべきこと)		
地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅のエレベーター設置のため市が住民と協働して JR に要請する。(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 裏駅の設置（特産物店設置、多目的広場（イベント公園化））</li> <li>・ 荒尾駅への案内板の設置</li> </ul>

## 【上下水道】

「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題
<p>上水道については、水質の改善を図るとともに、下水道については、水洗化の更なる普及や小型合併浄化槽の設置増による排水処理機能強化を図る必要があります。</p>



具体的な提案(やるべきこと)		
地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活排水の浄化意識の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合併浄化槽の普及・推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下水道網の拡大</li> </ul>

## 【道路】

「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題
<p>荒尾市の道路整備においては、道路幅の拡大など交通量の増大に十分対応できてない道路の改善を図る必要があります。</p> <p>また、側溝の整備による道路排水の向上や電柱地中化等による道路景観の向上を図る必要があります。</p> <p>そのほか、道路案内標識の設置（特に万田坑へ）や歩道整備による小学校への通学路の安全性確保などにも取り組む必要があります。</p>



具体的な提案(やるべきこと)		
地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・電柱の地中化(8)</li> <li>・交通量調査の実施とそれによる市道の再整備（道路拡張歩道帯の設置）</li> <li>・通学路（学童多し）などの標識をもっと多く設置する。</li> </ul>

## 【公共交通】

「伸ばしたいところ」「変えたいところ」からみた本市の現状や課題
公共交通については、通勤通学の交通アクセスの確保や高齢者が自由に活用できるよう、バス停及びバス運行日数の増加や文化センターまでの交通の便の確保などを踏まえた交通手段の確保が必要です。



具体的な提案(やるべきこと)		
地域や住民が主体となるもの	住民と行政が協働するもの	行政が主体となるもの
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化社会に対応したフリー（バス・タクシー）の運行を市民、行政で実現する。(5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用しやすい公共交通整備</li> </ul>



### Ⅲ 参考資料

#### 1 各回の検討内容と進め方

区 分	主な内容
<p><b>第1回</b> 8月9日(火) 19:00~21:00</p>	<p><b>【テーマ：オリエンテーションと市の宝さがし】</b></p> <p>①課長あいさつ</p> <p>②オリエンテーション ・市民参加型ワーキンググループの役割・スケジュール等の説明 ・総合計画の概要説明</p> <p>③グループ別に自己紹介等 ・メンバー紹介（自己紹介） ・グループリーダー選出</p> <p>④今回の具体的な進め方について説明 ワークショップ形式の具体的な進め方を、ファシリテータより説明する。</p> <p>⑤意見交換 市の「伸ばすべきところ」「変えたいところ」「やるべきこと」についてまず、グループの担当分野ごとに自由に意見交換する。</p> <p>⑥ポストイットの記入 参加者は意見の内容を2行程度の言葉にしてポストイット（以下カード）に書き込む。</p> <p>⑦模造紙への貼り付け グループリーダーを中心に、模造紙を、上記3つのテーマに3等分しておき、出てきたカードを該当する各テーマに貼り付ける。</p>
<p><b>第2回</b> 8月23日(火) 19:00~21:00</p>	<p><b>【テーマ：市の宝さがし(つづき)】</b></p> <p>①グループ分け 「伸ばすべきところ」「変えたいところ」について同じ内容や類似する内容をくくって、考えられる短いタイトルをつけカードに書いて、括りの真ん中に貼っておく。</p> <p>②「やるべきこと」について深める。 括った「伸ばすべきところ」「変えたいところ」から考えられる「やるべきこと」について、みんなで考え、新たに「やるべきこと」の欄にカードを貼り付ける。 併せて、この「伸ばすべきところ」「変えたいところ」と既に出されている「やるべきこと」とを結びつけ、みんなでも対応関係を確認する。</p> <p>③グループ発表 グループリーダーから今回までの検討結果の発表</p>

<p><b>第3回</b> 9月9日(金) 19:00~20:30</p>	<p><b>【テーマ：施策・事業イメージの整理】</b></p> <p>①前回提案意見の確認と説明 第1回および第2回結果をとりまとめた資料を作成、配布し、結果の確認等を行うとともに、今回の進め方について説明する。</p> <p>②各グループ担当の検討分野ごとに目指すべき方向の整理 2回までに検討した結果を各グループが担当する「道路」「交通」「住宅」等の分野ごとに、模造紙に枠を設け、括った「伸ばすべきところ」「変えたいところ」を「思うこと」「言いたいこと」など各分野が目指すべき方向としての表現をみんなで工夫し、新しいカードに記入して、該当する分野に貼り付ける。</p> <p>③分野別目指すべき方向に対応した要望する施策等の整理 ②の検討結果に対応する「やるべきこと」を、具体的にこのように取り組んだ方がいいといった施策イメージにかえる作業をみんなで行い、新しいカードに記入して、該当する分野に貼り付ける。</p> <p>④他グループについての意見交換 他の3グループが7分間の間に、共感する「要望する施策」（やるべきこと）について、その欄ないしカードの右上に、配布したマーク（各グループにつき一人2つまで）を貼り付けるとともに、新しい意見を出し合う。</p> <p>⑤グループ発表 グループリーダーから今回の検討結果の発表</p>
<p><b>第4回</b> 9月27日(火) 19:00~20:30</p>	<p><b>【テーマ：提言書についての意見交換など】</b></p> <p>■提言書案についてのグループでの意見交換と発表 前回までの議論結果を提言書としてまとめたものについて、グループごとに意見交換を行なうとともに、それを受けて、グループリーダーによりとりまとめ結果を発表する。</p> <p>■提出代表者の選出 提言書を市長に提出する代表者を選出する。</p>



## 2 荒尾市まちづくりワーキンググループメンバー一覧

分野	団体名	役職	氏名	関係課
産業・雇用 創出分野 (10団体)	荒尾商工会議所	事務局長	松崎 義和	産業振興課 農林水産課
	玉名農業協同組合 荒尾市総合支所	荒尾市総合支所長	堀 正彦	
	JAたまな 女性部 荒尾市支部	八幡支所 副支部長	平島 仁美	
	荒尾漁業協同組合	副組合長	菊川 偉之	
	一般社団法人 荒尾市観光協会	専務理事	進藤 健介	
	荒尾市商店連合会	会長	本堀 憲治	
	荒尾飲食店組合	組合長	丸尾 淳一	
	企業組合 中央青空企画	代表理事	弥山 雄一郎	
	小代焼窯元の会	事務局長	未安 洋介	
	熊本北部漁業協同組合	副組合長	西島 良則	
福祉・保健・ 医療分野 (9団体)	荒尾市医師会	事務局長	森尾 賢二	福祉課
	荒尾市社会福祉協議会	係長	平川 喜晴	健康生活課
	荒尾市老人クラブ連合会	事務局長	荒木 隆祐	子育て支援課
	荒尾市民生委員児童委員協議会連合会	会長	古閑 義人	市民病院 総務課
	社団法人 荒尾市シルバー人材センター	常務理事兼事務局長	隅倉 博彦	
	身体障害者福祉協会連合会	会長	斎 浩史	
	荒尾市ボランティア連絡協議会	副会長	松下 さえ子	
	荒尾市健康づくり推進員協議会	会長	秋富 しつ彥	
	荒尾市食生活改善推進員協議会	副会長	前田 洋子	
子育て・教育・ 文化・ スポーツ 分野 (9団体)	荒尾市PTA連合会	副会長	栗原 和則	教育振興課
	荒尾市文化協会	常任理事	宮崎 二三子	社会教育課
	荒尾市体育協会	副会長	松尾 昌	社会体育課
	荒尾市体育指導員協会	副会長	古城 義郎	子育て支援課
	荒尾市保育協議会	野原保育園 園長	寺本 由紀弘	人権啓発課
	ありあけ国際交流協会	副会長	清水 祥子	
	荒尾市保育園保護者会連合会	副会長	米田 直樹	
	熊本県私立幼稚園連合会 荒玉支部	みやじま幼稚園 理事長	開田 郁子	
	女性ネットワーク荒尾	あはは 代表	平尾 美佐	
コミュニティ・ 防災・環境・ 都市基盤 分野 (8団体)	荒尾市(校区)社会教育連絡協議会	万田中央地区社会教育連絡協議会 会長	田中 一大	総務課
	荒尾市行政協力会	上井手上行政協力員	濱崎 隆義	くらしいきいき課
	社団法人 荒尾青年会議所	理事長	石原 敬	環境保全課
	荒尾市消防団	会長	菊川 和清	土木課
	(社)熊本県建築士会あらたま支部	運営委員	元松 弘己	建築住宅課
	エコパートナーあらお市民会議	会長	田島 衆一	下水道課
	平井校区元気づくり委員会	事務局長	池上 泰俊	水道局
	二小元気会	会長	一二三 宏	